

＜学校名＞ 白岡市立大山小学校
＜所在地＞ 白岡市荒井新田 3 3 9
＜電 話＞ 0 4 8 0 - 9 7 - 0 6 2 7
＜本事例の特徴＞

本校では、英語活動補助員（J T E）やA L Tとともに全学年が外国語活動を実施している。高学年は市から派遣されるA L Tを生かして国際理解教育にも取り組んでいる。活動は児童が楽しく活動できるように、校内で一番広く児童が気兼ねなく活動できる視聴覚室を使い、大型テレビのデジタル教材を活用して外国語活動に取り組んでいる。

＜具体的な取組や成果＞

○外国語活動の取組



外国語活動については、英語に堪能なJ T Eが必ず入り、1年生から4年生は、英会話体操を中心に季節のイベントを取り入れながら活動している。例えばイベントのなかのキャラクター等登場するものをカードにしてゲームのように誰でも楽しく取り組めるようにしている。また、5、6年生は対話と発表を中心に活動している。单元ごとの話題に関係することを各自が英語で表現をしたり、友達の発表を聞いたり

して外国語活動を楽しんでいる。時間割については、事前に学年ごとに活動内容についてJ T EやA L Tと入念な打合せを行い、担任もJ T E、A L Tや児童と一緒に英語を楽しみながら学習できるようにしている。その他、タッチパネルの大型テレビやデジタル教材を活用したり、給食の時間に英会話体操や英語の歌を全校放送で流したりして日常的に英語に慣れ親しめるようにしている。

○総合的な学習の時間の中での取組

国際理解をテーマに4年生が総合的な学習の中で、外国の地理や文化に触れる学習をしている。いろいろな国のことを知るために、市から派遣されている小・中のA L Tの出身地の母国語や景色、食習慣、遊び等についてA L Tから話を聞いたり、遊びを教えていただいたりして授業の中で体験活動を取り入れながら学習している。



民族衣装の試着

＜成果と課題＞

外国語活動においては、英語のみで内容を聞き取り、感覚的に英語で返答できるような力がついてきている。どの学年も積極的に参加し、英語を楽しんで活動できるようになってきた。課題は、地域的に外国の方に触れ合える機会が少ないことである。



アメリカの遊び